

愛に満ちた音楽を届けたい・・・

聴くものに愛や癒し、優しさ、希望、感動などの想いを与えてくれる晴美先生の音楽を一人でも多くの方に届けたいという想いが膨らみ、2008年3月、三島で初のリサイタル「遠藤いつ子 高橋晴美の世界を歌う」を開催し、その夢が実現しました。

その後、各地で行われた「高橋晴美の世界を歌う」のコンサートに出演させていただく中、たくさんの方が晴美先生の曲を通じて心をひとつにし、想いを込めて歌った音楽からみなぎるバイブレーションに、何度も感動しました。

今度はその合唱を届けたいと思い、今回のコンサートに踏み切りました。フィナーレでは晴美先生の代表曲でもある「ひとつ」と「Cantare～歌よ大地に響け～」を、大合唱したいと思っております。

それぞれ第一線で活躍されているバンドや弦楽カルテットの皆さんの演奏にのせて、愛に満ちた生の「高橋晴美の世界」を一人でも多くの方にお届けしたい、それが私の願いです。

遠藤いつ子

○出演者プロフィール

高橋晴美 (作詞 作曲 ピアニスト)

京都生まれ。3歳から音感教育を酒田富治氏、9歳より作曲を平井康三郎氏、17歳より和声学、対位法を永富正之氏、池内友次郎氏に師事。国立音楽大学作曲科卒業後、ジャズ理論を稲森康利氏に師事。1989年旧ソ連で行われた即興演奏コンクールでピアノソロ部門第1位を受賞。'95・'96年パリにおいて在仏日本大使館主催で、作詞・作曲のオリジナルコンサート自ら率いるバンドで行う。広いジャンルに亘る作風で器楽曲、歌曲、合唱曲、オーケストラ曲を手がけ、1999年グアテマラにおいて、グアテマラ文化スポーツ省、日本大使館主催により、グアテマラ国立管弦楽団と共演。2000年ポーランドにおいて、国立ワルシャワ管弦楽団と共演し、CD「高橋晴美インワルシャワ」を作成。2001年にはグアテマラ、エルサルバドルにおいて、2002年にはケンブリッジ、ロンドン、ウィンザー、において、2003年にはグアテマラ、エルサルバドル、ニカラグアにおいて、各国で大使館主催のコンサート活動を行っている。2004年5月には、東京芸術劇場大ホールに於いて全曲自身の作品で、オーケストラと合唱による「愛のコンサート」を行い絶賛された。作品の中に一貫して流れている“愛”は高橋晴美の世界の大きな特徴である。音楽之友社から作品の合唱版が教科書を始め、多数中高生用教材に採用されている。現在、作詞・作曲家・ピアニストとして高い評価を得ており、9枚のCDがリリースされている。2006年2007年4月にはピアノソロのCD「愛のピアノ」が全日空のANAスカイチャンネルに採用された。日本著作権協会正会員

<http://www.harumi-net.jp>

遠藤いつ子 (ソプラノ)

静岡県裾野市出身。昭和音楽大学声楽科卒業、同大学音楽専攻科修了。財団法人日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第20期研究生修了。声楽を古賀恵美子、佐藤実香に師事。中学校小学校の講師をする傍ら、これまで広島、富士、京都、名古屋、新潟、山形、沖縄で行われた、「高橋晴美の世界」のコンサートや東京でのライブに出演。多くの人に「高橋晴美の世界」を伝えたいという思いが膨らみ、2008年3月には、三島で初のリサイタル「遠藤いつ子 高橋晴美の世界を歌う」を開催した。現在、高橋晴美の作品を地元で歌い広めると同時に、「水と蛍のフェスティバル」(三島市)、「みしまプラザホテル120周年チャリティコンサート」(みしまプラザホテル)、「黄瀬川クラシックコンサート」(裾野市)、「パルフォーレ友の会会員コンサート」(長泉町)、「生涯学習セミナーコンサート」(長泉町)等に出演し、活動している。

<http://www.endo-5.jp>

八木秀樹 (ドラムス、パーカッション)

猪俣 猛氏に師事。1977年、「林 忠男ジャズハーブトリオ」でプロ入り。「見砂直照とヌエボラティーンズ」「タイムファイブ」を経て、1981年、「高橋達也と東京ユニオンオーケストラ」に入団。その後、高橋真梨子、伊東ゆかり、小林 洋とシャイニー・ストッキングス等で演奏。1995年2月、1996年4月と「高橋晴美トリオ」の一員として、パリ在仏日本大使館広報文化センターでコンサートを行い好評を博す。現在フリーでオールラウンドプレイヤーとし活躍中。長年のキャリアに基づく正確な技術と色彩豊かな音色を持つ、アンサンブルを大切にするドラマー。ジルジャンシンバルエンドーサー。

芹澤薫樹 (ベース)

1975年静岡県沼津市生まれ。ピアノ、打楽器を経て大学入学後ベースを始め独学で習得、在学中よりジャズ・ベーシストとしてプロ活動を開始する。卒業後は幅広い音楽的素養とウッド/エレキをシュアに弾きこなす柔軟なプレイスタイルを活かして、ミュージカル(「シェルブールの雨傘」etc)、吹奏楽(大江戸ウィンドOrch)、ポップスと活動を多岐に広げる。カルメン・マキ、李政美(い・ちよんみ)、井上昌己、TARO かまやつ、navy&ivory、dorlisほか多数のアーティストのコンサートやレコーディングに参加するほか、内堀勝&Big” LUSH” Band、羽毛田耕士ビッグバンド、セッション、自己プロジェクトなど精力的に活動している。

大和田雅洋 (サクソフォーン)

1990年東京藝術大学音楽部器楽科入学後、1992年に第1回ジュール・ド・ブリース国際サクソフォーン・コンクール(スウェーデン)にてセミファイナリストとなり、1993年には第10回日本打楽器コンクールサクソフォーン部門第2位となる。1996年同大学大学院修士課程終了。2000年第12回ワールド・サクソフォーン・コンGRESS(モントリオール/カナダ)出演。現在洗足学園音楽大学講師。日本サクソフォーン協会運営委員。

小口佳子 (1stヴァイオリン)

横浜市出身、4歳からヴァイオリンを始め、10歳より桐朋学園子供のための音楽教室に入室。桐朋学園高等学校音楽科を経て、同大学卒業。ヴァイオリンを恵藤久美子、久保田良作、室内楽を安田謙一郎、久保陽子、青木十良の各氏に師事。1996～1998年 富士山麓国際音楽祭に参加。1992、1996、2001年木曽音楽祭に参加。現在、数々のオーケストラのエキストラとして、又、宮内庁楽部洋楽演奏委託者として演奏活動をしている。長年に渡り後進の指導にも意欲的に務める傍ら、ボランティア演奏活動も精力的に行っている。アンサンブルフォルテメンバー。

Fax用チケット購入申込書

チケット購入枚数 大人 2,500円 _____ 枚 高校生以下 1,500円 _____ 枚

お名前 _____

〒・ご住所 _____

ご連絡先 Tel/Fax _____

*チケット送付はお申込み後、振込用紙同封のうえ発送いたします。

お申込み・お問合せ Fax : 055-993-6696 Tel : 080-1620-9475 E-mail:nagaizumiconcert327@yahoo.co.jp